

厚木愛甲環境施設組合ごみ中間処理施設整備検討委員会（第8回）

日 時 平成 28 年 10 月 4 日（火） 午後 2 時～午後 2 時 30 分

場 所 厚木商工会議所 3 階 303 中会議室

出席者（出席委員数 15 名／委員数 15 名）

横田委員長、高澤副委員長、荒井委員、嶋崎委員、座間委員、竹内委員、青木委員
大野委員、山市委員、西田委員、池貝委員、岩崎委員、矢野委員、大成委員、平田委員

事務局 厚木愛甲環境施設組合（事務局長、事務局次長他）

傍聴者 4 名

1 開会

出席者数報告 委員 15 名全員出席

支援コンサルタントの紹介

平成 31 年度まで 4 年間、環境影響評価業務及び基本設計業務を支援する国際航
業株式会社を紹介

委員長あいさつ

本日は環境アセスメントの実施状況が中心の議題となりますが、既にご承知のとおり、環境アセスメントは特定事業を実施する際に法律や条例に基づいてその事業が環境に与える影響について事前に予測や評価を行い、環境に与える影響を最小にするという趣旨で行うものです。

当組合の施設については神奈川県条例で規定するごみ焼却施設として 200 トン/日、敷地面積 3 ヘクタールを超えるため、実施するものです。

長期にわたる事業であり効率的な推進が求められておりますので、ご協力くださいますようお願いいたします。

2 案件

(1) 環境影響評価及び施設基本設計の進捗状況について（報告）

① 実施状況及び今後の予定について

事務局

資料1に基づき説明

議長

特に質疑等ないので、次の議題に移ります。

② 環境影響予測評価実施計画書について

事務局 参考資料1及び参考資料2に基づき説明

議長 参考資料1の最後のページの説明で、環境アセスメント業務は5段階の業務があるとの説明がありましたが、その部分を再度説明願います。

事務局 アセスメント業務は大きく分けて5段階に分かれます。参考資料1の最後のページには実施計画書、予測評価書案、予測評価書、事後調査報告書と記載していますが、実施計画書と実施計画書案の間には事業者が行う現地調査の記載を省略していますので、この業務を含めて5段階の業務ということです。

議長 ほかにこの件について質問等なければその他に移ります。

3 その他

この会議終了後、専門部会を302会議室で開催しますので、お知らせいたします。

4 閉会

副委員長

これをもって閉会いたします。本日は御苦勞様でした。



《第8回 ごみ中間処理施設整備検討委員会の様子》